

【NEWS RELEASE】

2023年10月16日

各 位

株式会社ゼンコー

当社主催令和5年度パラスポーツ研修会

株式会社ゼンコー（本社所在地：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：海野弘幸）主催の「令和5年度パラスポーツ研修会」を、9月14日に渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催いたしました。

主催：株式会社ゼンコー、株式会社ゼンコーVサークル

主管：日本スポーツ施設協会特別会員パラスポーツ支援部会

協力：東京都障害者スポーツ協会

本研修会は当グループやスポーツ関連企業、尚美学園大学などから30名を超える参加者が集い、朝から夕方にかけて二部構成で行われました。午前中は東京都障害者スポーツ協会の屋敷さんによるさまざまな障がいの種類や困りごとの違い、障がいを持つ人々にとってのパラスポーツの意義などを講義で学んだあと、ペアになって声を発さずお題に添った意思疎通を図ったり、目隠しをした相手に視覚情報を伝えたりする課題に取り組みました。

昼食を挟み、午後は体育館で2グループに分かれ「シットイングバレーボール」と「フライングディスク」の2種目を交代で体験しました。シットイングバレーボールは座った姿勢で狭いコートの中をスピーディーなラリーで楽しむ競技。今回は初心者でも余裕をもって体験できるよう鈴が入った大きな風船をボール代わりにゆっくりとプレイしました。フライングディスクはプラスチック製のディスクを投げて距離の遠さや円形ゴールへの通過率を競います。障がいを想定して脇や脚などにクリアファイルを挟み、身体の一部を動かさない状態にして体験し、研修会を終えました。

当グループは、警備業界に障害者対応力の向上が必要不可欠と考えております。パラスポーツはそれぞれの障害を深く理解し、ルール・道具等を調整しながら、各スポーツの特徴や選手本人が努力する局面も残るよう工夫して行われるものであり、パラスポーツ研修会を主催することで警備会社としての成長・社員たちの人間的成長が期待でき、社会への貢献にも繋がります。今後もさらに障がいへの理解に努め、尽力してまいります。



以 上